



修理された「優勝カップ」 第 57 回運動会

校長 瀧嶋 克己

2学期がスタートしました。子供たちの笑顔が学校に戻ってきました。夏休み中の学校の様子を紹介します。

■水泳学習や学力補充教室、吹奏楽部練習

水泳学習は、前半9日間、後半4日間の13日間を計画しました。今年は、13日間実施することができました。昨年度までは、プールの更衣室を使用していましたが、手狭で入れ替え時間と重なるため、今年度は多目的室と算数教室を更衣室として活用しました。多少ですが時間のロスを解消することができました。延べ1674人の参加がありました(昨年1164人)。各々がめあてをもって水泳学習に参加し上達していきました。皆勤賞と精勤賞を渡します。

(天候不順の7/26・27、8/2の3日間を除く10日間)

6年生は、5日(火)に関進第三小学校で行われる連合水泳記録会に出場します。

学力補充教室は、各学年3日間行い算数・国語のプリントを中心に復習しました。豊島高校のお兄さん・お姉さんがボランティアとして丁寧に教えてくれました。

吹奏楽部は、13日間練習しました。プレ実習ということで、近隣の武蔵野音楽大学の学生さんが2名、各半日ずつ子供たちの練習を観察したり、技術指導をしたりしてくれました。中学生の先輩も時間を見つけて教えにきてくれました。2学期は、音楽祭が目白押しです。ぜひ、練習の成果を発揮してほしいと思います。

■1年生の教室床と廊下もピカピカ

1年生の教室の床は、練馬区学校用務主事研

修を兼ねてサンダー掛けと塗装を行いました。また、1階から3階の廊下は、毎年のようにワックスをかけ、どちらもピカピカになりました。



さて、平成28年10月号の小竹だよりで「持ち手の取れた優勝カップ」と題して本校の優勝カップのことを書きました。以下がその時の主な内容です。「本校の優勝カップの持ち手は、片方が取れています。なぜ、いつ取れてしまったのかは不明です。毎年、強力接着剤で修理をしたり、テープを付けたりするなどして、その場を凌いできました。専門の方にもお願いしてみましたが、取り付けは難しいとのことでした。・・・」すると昨年の運動会の日、「あの優勝カップは私の祖父が寄贈したものです。」と本校の保護者が教えてくださいました。「もし、よろしければ運動会後少し貸していただけませんか。」ということでした。戻ってきた優勝カップは、持ち手が取り付けられ外装も新品同様に生まれ変わり、土台がしっかりして重みも増したように感じられました。謝礼は受け取っていただけませんでした。子供たちのためにこれからも大切に使用させていただきます。30日(土)は、運動会です。子供たちのがんばりにご声援をお願いします。